



流行ノ心理ト現代經濟生活(2)

米田, 庄太郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 16(6):969-987

(Issue Date)

1914-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052220>



流行ノ心理ト現代經濟生活 (其二)

京都文科大學講師

米田庄太郎

初メノ計畫ニ於テハ、余ハ本論文ヲ三回ニ分チテ發表シ、第一回ニ於テハ流行ノ概念、次ニ第二回ニ於テハ流行ノ心理終リニ第三回ニ於テハ流行ト現代經濟生活トノ關係ヲ稍々詳シク論述スル考ヘデアツタガ、第一回分ヲ公ニシテ以來、健康ヲ害シタル爲メニ、講義ノ準備ニ追ハレ、遺憾ナガラ本論文ノ方ハ其儘ニシテ置イタガ、本紙編輯主任ヨリ屢々續稿ノ催促ヲ受ケタルヨリ、已ナ得ズ初メノ計畫ヲステ、簡單ニ論述スルコト、シタノデアル。尙ホ詳シクハ他日題ヲ改メテ論述スル目算デアルカラ讀者諸君之ヲ諒察セラレタイ。

三 流行ノ心理一般

余ハ前節ニ於テ、流行ノ心理ヲ先ヅ最狹義ノ流行概念ニ就テ論述シ、更ニ進ンデ最廣義ノ流行概念ニ就テ之ヲ根本的ニ論述シタイト云フテ置イタガ、併シ始メノ計畫ヲ變更シタガ爲メニ、茲ニハ此ノ如キ區別ヲ立テズ、主トシテ最狹義ノ流行概念ヲ目標トシテ考究シ其ノ中ニ最廣義ノ流行概念ノ心理ニ關スル研究ヲ含マセテ置クコト、スル。

サキニ述ベシ如ク流行ノ特徴ハ、服裝化粧等、スキルヲチニ氏ノ所謂人間ノ身體

ニ施セル裝飾藝術ニ於テ最モ著シク現ハレテ居ルコトハ、人々ノ一般ニ承認スル處ニシテ、流行ト云フコトヲ尤モ普通ニ用ヒラル、意味、即チ科學的ニ考察スレバ其ノ最狹義ノ概念ト見做ス可キ意味ニ解スルトキハ、是レツマリ服裝化粧等ニ關シテ新タラシイト云フ意識ヲ伴ナヘル優勝模倣デアルト云ハチバナラナイノデアアル。而シテ今流行ヲ此ノ最狹義ニ解シテ、其ノ心理ノ一般ヲ考究セントスルニ當テ、先ヅ注目ス可キ根本問題ハ(1)優勝模倣ノ心理、(2)新タラシイト云フ意識ノ心理及ビ(3)服裝化粧等ノ心理デアアル。余ハ先ヅ此等ノ三問題ニ就テ稍々詳シク論究シ終リニ之ヲ總括シテ最狹義ノ流行ノ本質、起源、發達等ヲヤハリ稍々詳シク論述スル考ヘデアツタガ、今ヤ其暇ナキヲ以テ、優勝模倣ノ心理ニ就テハ前節ニ述ベシダケニ止メ、其ノ他ノ諸問題ヲモ極簡單ニ概論スルニ止メテ置ク。

夫レ「新ラシイト云フ意識」ハ變化慾 Variationsbedürfnis ヲ前定スルモノデアアル。或ハ變化慾ヨリシテ新シキヲ要求スル念ガ起ルト云フコトガ出來ル如何ニ新シキモノモ永ク繼續スルニ於テハ新シクナクナルノデアアル。物が新シクアル爲メニハ常ニ變化セチバナラヌ。サレバ新シキヲ要求スル念、殊ニ其不正常的的發展ト見ル可キ

「矢鱈ニ新ラシガリタガル念」ハツマリ變化慾ヨリ起ル心理現象デアルノデアル。余ガ茲ニ便宜上簡單ニ「新ラシイト」云フ意識ト云フテ居ルノハ、新ラシキモノニ就テ感ズル快感及ビ此快感ヲ享受センガ爲メニ新ラシキモノヲ要求スル念ヲ包括セル意識狀態ヲ意味スルノデアル。又變化慾ト云フノモ變化ニ就テ感ズル快感及ビ此快感ヲ享受センガ爲メニ變化ヲ要求スル念ヲ包括セルモノデアル。而シテ新ラシイト云フコト、變化トハ必然的關係ヲ有スルモノ、或ハ變化セルモノガ即チ新ラシイモノデアルノデアルカラ「新ラシイト」云フ意識ハ變化慾ニ伴フテ起リ、更ニ「新ラシイト」云フ意識ガ大ニ強度ヲ増シ、不正常的ニ發展シテ「矢鱈ニ新ラシガリタガル念」トナレル場合ニハ、其根柢トシテ變化慾ガ大ニ強度ヲ増シ、ヤハリ不正常的ニ發展シテ變化ノ價值如何ヲ問ハズ單ニ變化ノ爲メニ變化、或ハ單ニ變化ノ快感ノ爲メニ變化ヲ求ムル念トナレルコトヲ意味スルノデアル。サレバ「新ラシイト」云フ意識ノ心理研究ハツマリ變化慾ノ心理研究ニ歸着スルノデアル。或ハ之ヲ基礎トシテ行ハル可キモノデアル。

Misonisme(新ラシキモノヲ嫌惡スル性向ト云フ意味)ト云フ語ハ、余ハタシカロム

ブロン氏ノ造ラレタ新語ト思フテ居ルガ、或ハ氏以前ニ之ヲ造ツタ人ガアルカモ知レナイ。トニカク此語ヲ學界ニ流行セシメタノハ同氏ニシテ、同氏ハ此ノ所謂嫌新的性向ノ生理學的根據ヲ研究シ、又其ノ生物生活及ビ人類ノ社會生活ニ於ケル重要ヲ、始メテ詳シク論述サレタノデアル。氏ノ名著「政治的犯罪及ビ革命」[Lombroso et Laschi, Le crime politique et les révolutions, 2 vol 1892]ノ中ニハ此ノ嫌新的性向ニ付テ先ヅ左ノ如ク云ハレテ居ル。

夫レ生物ノ進歩ハ徐々ニ進行スル變化ノ結果デアル。此等ノ變化ハ一部分ハ自然淘汰及ビ生存競争ト其ニマス、其ノ影響ノ強マリ行ク外界事情ニヨリ又一部分ハ惰性ノ法則 La loi d'inertie ニヨリテ生起スルモノデアル。……此惰性ノ法則ハモト物理界ニ於テ發見サレタルモノデアルガ、併シ生物生活ニ於テモ行ハル、ノミナラズ。又心理生活、社會生活ニ於テモ同様ニ行ハル、モノデアル。而シテ此等ノ場合ニハ *Misoneisme* トシテ發動シテ居ルノデアル。……*Misoneisme* ハツマリ吾人ガ古キ感覺ニ新シキ感覺ヲ代ヘントスル場合ニ感ズル困難及ビ嫌厭ヨリ生ズルモノナルガ、動物間ニ於テモ一般ニ發現シテ居ルカラ、吾人ハ之ヲ一

ノ生理的性質ト見做スコトガ出來ル。…… Misonéisme ハ之ヲ一ヲ生理的性質トシテ見レバ、ツマリ一ノ保護的機能デアル。ibid, Tome I^{er}, Chap. I, 4 Révolutions et révoltes)

夫ヨリロムブロン氏ハ風俗、習慣、宗教、道德、學問、文藝、美術、流行、政治、刑罰等ノ諸現象ニ就テ Misonéisme ノ作用ヲ詳シク論述サレテ居ル。要スルニロムブロン氏ノ Misonéisme ト稱スルモノハ總テ新ラシキ事物ニ對スル本能的恐怖或ハ本能的嫌惡ヲ意味スルモノデアル。今吾人人類ハ生レヅキロ氏ノ Misonéisme ト稱スルガ如キ性向ヲ或ル程度ニ於テ有ツテ居ルコトハ否ム可カラザル事實デアルガ、併シ吾人ハ是レト共ニ又 Philonéisme 卽チ新ラシキモノヲ愛スル念、或ハ求ムル念、ツマリ變化慾ヲモ人類本有ノ性向ト認メ子バナライノデハアルマイカ、更ニ Misonéisme ハ果シテロ氏ノ主張スル程人類ノ社會生活心理生活ニ於テ強大ナル勢力ヲ振フモノデアラウカ。ロ氏モ敢テ Philonéisme ヲ否定シテ居ライナイ。併シ Misonéisme ハ正則ニシテ Philonéisme ハ例外デアルト論ジテ居ル。扱ロ氏ノ說ノ現ハル、ヤ佛國文藝批評ノ大家 Brunetiere 氏ヤ犯罪學ノ大家 Proal 氏 Joly 氏等ノ諸家が相次デ之レニ批評ヲ加ヘタガ、殊ニタールド先生ハ詳細ナル批評ヲ加ヘラレタ。Tarde, Etudes pénales et Sociales, 1892

(Le Delfit politique.) 而シテ先生ハ敢テ *Misonéisme* ヲ否定シナイ、否ナ其重要ヲ認メテ居ル。而モロ氏ノ如キ意味ニテ之ヲ解スルコトハ穩當デナイト云ハレ、更ニ *Misonéisme* ナルモノヲ認ムレバ之レト同時ニ又 *Philonéisme* (新ラシキモノヲ愛スル性向) ナルモノヲモ認ムルコトガ必要デアルト考ヘ、而シテ前者ハ根本的ナルモノデアルガ、後者ハ前者ノ真髓又ハ *raison d'être* デアルト論ゼラレテ居ル。要スルニタールド先生ノ考ヘニヨレバ、人類ハ模倣ノ本能ヲ有シ、總テノ物ヲ、又常ニ模倣スルモノナレバ、單ニ古キモノヲ模倣スルノミナラズ、又新ラシキモノヲモ模倣スルノデアアル。故ニロ氏ノ解スルガ如キ意味ニテ人類ハ *Misonéisme* ヲ有スルトハ云フコトハ出來ナイ。唯一定ノ事情ニヨリテ時ニハ新ヲ排シテ舊ヲ模倣シ、時ニハ舊ヲ排シテ新ヲ模倣スルト云フ差異ヲ生ズルバカリデアアル。又總テ舊事ノ模倣ハ新事ノ模倣ヨリ始マルモノデアアル。舊事トハツマリ新事ノ年代ヲ經タモノニ外ナラス。新ラシキモノヲ模倣スルコトナクバ模倣ス可キ舊イモノハナイノデアアル。併シタールド先生ハ大ニロ氏ノ說ヲ排斥シ *Misonéisme* ヲ認メズシテ却テ *Philonéisme* ヲ力説スルモノ、如クニ解シテ居ル人々ハ少ナクナイ。而シテ此等ノ人々ハ多ク、ロ氏ノ說トタールド

先生ノ説トヲ調和セント試ミテ居ルガ、茲ニ其ノ一例トシテシグレ氏ノ意見ヲ述ベテ置ク。氏ハ云ハル、ニハ

今余ハ吾人ノ模倣ノ一部分ハ新ラシキモノ、愛ニヨツテ決定サレテ居ルコトハ否ナマナイ。併シ余ハ此ノ Philonisme ノ存在ガ Misoneisme ノ存在ヲ排斥セザバナラヌトハ考ヘナイ。吾人ノ最も多クハ重大ナル革新ニ對シテハ嫌新者^{フィロネイズム}デアアルガ、重要ノ小ナル或ハ全ク重要ナラザル新事ニ對シテハ愛新者^{ミソネイズム}デアアル。此等二種ノ現象ハ別々ニ又並行的ニ進行スルモノニシテ、之ヲ混同スルコトハ出來ナイ……國民ハ嫌新的デアアルト同時ニ愛新的デアアルコトガ出來ル。恰モ流行ニ從フテ化粧ヲ變更スルコトヲ好ム女子ガ、科學ノ發見ニ對シテハ不信ノ態度ヲ持シ、而シテ若シ人アリテ宗教ハ偏見ノ一團塊ニ外ナラヌト云ハンカ、彼女ハ機嫌ヲ害スルガ如キモノデアアル。Sighelle, La foule Criminelle. Essai de psychologie collective, 1901,

P. 37 et 38.

今余ノ考フル處ニヨレバ吾人人類ハ Self-Assertion ノ本能ヲ有スルト同時ニ Self-abasement ノ本能ヲ有シ、而シテ或人々ニアリテハ前者ガ比較的ニ強ク、他ノ人々ニ

アリテハ後者ガ比較的ニ強イト云フ差異アルト同ジ意味ニテ(McDougall, Introduction to Social Psychology, 1908, p. 62-66 參考)又本來習慣ニ從ハントスル情性的性向ト變化慾トヲ具有シ、而シテ或人々ニアリテハ前者ハ比較的ニ強ク、他ノ人々ニアリテハ後者ガ比較的ニ強イト云フ差異ガアリ、更ニ時代ニヨリテ社會一般ニ前者ガ強ク働クコトガアレバ、又後者ガ強ク働クコトガアルト思フ。併シ又普通ニハシグレ氏ノ云ヘル如ク一般ニ重大ナル事柄ニ關シテハ革新的ナル事ニ對シテ恐怖ノ念ヲ起シ、之ヲ受容スルニ躊躇スル、或ハ斷然之ヲ排斥スルガ、併シ重大ナラザル事柄ニ關シテハ、寧ロ變化ヲ愛シ、好ンデ新シキ事ヲ受容スル傾向ガ強イト思フ。

サテ[新ラシイト云フ意識]ノ心理的根柢トシテ、變化慾ノ一般的性質ハ如何ナルモノデアルカハ、以上述べシ處ニヨリテ説明シタト思フガ、然ラバ如何ナル時代或ハ社會ニ於テ變化慾ガ殊ニ強マリ、更ニ不正常的ニ發動スルコトガアリ、隨フテ、又[新ラシイト云フ意識]ガ大ニ強マリ、更ニ不正常的ニ發動シテ[矢鱈ニ新ラシガリタガル念]トナルニ至ルコトガアルカト云フニ、一言ニ云ハハ是レ從來ノ社會組織ガ瓦壞シツ、アツテ、而モ新ラシキ組織ガ確定セズ、人心ガ歸着スル處ナクシテ動搖

ノ烈シキ時代デアルト思フ。一言ニ云ハ、實際ニ變化變動ノ盛カンニ起リツ、アル時代デアル、人心ガ均衡ヲ失ヘル時代デアルト思フ。是レラムブレヒト氏ガ文化發展ノ一階段ヨリ他ノ階段ヘ移ル轉移期ト稱セラル、モノニシテ氏ハ此時期ノ精神的機制ヲ研究シテ精神的分裂ノ法則ナルモノヲ立テラレテ居ル。氏ノ云フ處ニヨレバ、此時期ノ真相ハ社會心理的狀態ニ於ケル分裂ノ大ナルコトデアル。人口ノ増加、經濟狀態ノ新發達、社會關係ノマス／＼複雜ニナリ、又擴大サレルコト等ハ總テ無限無數ノ新刺激、新印象、新興奮ヲ起シ、而シテ此等ノ新刺激、新印象ハ日夜各個ノ意識ヲ攻撃シテ何人モ意識的無意識的ニ其影響ヲ免ルコトハ出來ナイ。其ノ結果各個人ノ意識ノ内容ハ新ラシキ感覺、觀念、感情、傾向等ヲ以テ充タサレ、從來ノ精神的均衡ハ擾亂サレ、瓦解サレテクル。各個人ノ思想ニ於テハ習慣的連想ノ統一ガ破レ、各個人ハ千差萬別ナル傾向ニ刺激サレテ全ク自制力ヲ失ナヒ、暗示感性ハ非常ニ強マツテクルノデアル。(Lamprecht, Moderne-Geschichtswissenschaft, 1905. What is History, 1905.) カ、ル時代ニ於テハ變化慾ガ最モ強マリ、又不正常的ニ發動シテ人ハ唯變化ノ爲メニ變化ヲ求メ、隨フテ「新ラシイト」云フ意識「ガ大ニ強マリ、更ニ不

正當的ニ發動シテ、人々ハ矢鱈ニ新ラシガリタガツテクルノデアル。此クテカ、ル時代ニ於テハ單ニアマリ重大ナラス事柄ニ關スルノミナラズ。總テノ事柄ニ關シテ流行ガ盛ンニナルノデアル。又個人主義及ビ民政主義が大ニ發達シ、思想ノ自由、企業ノ自由、享樂ノ自由等ガ認メラレ、個人ガ自由ニ活動スル時代ハ、種々ノ點ニ於テラムプレヒト氏ノ轉移期ト稱スルモノニ類似シ、變化慾ガ盛ンニ發動シテ、流行ハ盛ンニ行ハレルノデアル。然ルニ余ハカ、ル時代ノ外ニ、更ニアマリ重大ナラザル事柄ニ關シテ特ニ變化慾ノ盛ンニ發動スル時代ガアルト思フ。是レ社會組織ガ確立シテ居ツテ社會生活ノ重大ナル方面ニ於テハ毫モ變化ヲ許サナイト同時ニ國民ノ經濟的資力が大ニ發達シテ、生活ニ餘裕ヲ生ゼル時代デアル。カ、ル時代ニハ變化慾ハ服裝化粧等ニ關シテ強ク發動シテクルノデテル。社會生活ノ重大ナル方面ニ於テ發動出來ナイダケ、服裝化粧等ニ關スル微細ナル方面ニ於テ却テ強ク發動シ其等ノ事柄ニ關スル流行ヲ盛ンナラシムルノデアル。更ニ一國民ガ他國ノ文明ヲ輸入スル時代ニ於テモ亦變化慾ガ強ク發動シテ流行ヲ盛ンナラシムルノデアルガ併シ此ル時代ハラムプレヒト氏ノ轉移期ト稱スルモノ、一種ト見做ス

コトガ出來ヤウト思フ。要スルニ余ハ以上述ベシガ如キ諸時代ハ、變化慾ガ殊ニ強マリ「新ラシイト云フ意識」が大ニ勢力ヲ振ヒ、流行ガ盛ンニ行ハル、「チビカル」ナ時代デアルト考ヘルノデアル。

終リニ余ハ尙ホ少シク變化慾ノ心理的基礎ニ就テ論ジテ置キタイト思フガ、今日流行ノ社會心理的基礎トシテ一般ニ承認サレテ居ルノハ、ジムメル氏ノ始メテ明晰ニ説述セル模倣ノ本能或ハ傾向ト差別慾或ハ分化ノ傾向 *Nachahmungstrieb und das Unterscheidesbedürfnis, die Tendenz auf Differenzierung, (Simmel, Philosophie der Mode, 1905.)* トデアル。然ラバ此等二種ノ傾向或ハ慾動ト變化慾トノ關係ハドウデアルカ。更ニ此等二種ノ傾向ト自己肯定ノ本能及ビ自己卑下ノ本能 *Self-Assertion and Self-Abasement* トノ關係ハドウデアルカト云フ問題ハ起ツテクルノデアル。余ハ此等ノ問題ニ就テモヤ、詳シク論ズル考ヘデアツタガ、今ヤ其ノ暇ガナイカラ簡單ニ一言スルニ止メテ置ク。余ハ根本的ニハ模倣ノ傾向ハ自己卑下ノ本能ヨリ派生セルモノカ又ハ之レト同一ノ根源ヨリ派出セルモノデアルト考ヘ、而シテ差別慾或ハ分化ノ傾向ハ自己肯定ノ本能ヨリ派生セルモノカ、又ハ之レト同一ノ根源ヨリ派出セルモノ

ノデアルト考ヘテ居ル。更ニ變化慾ハモト分化ノ傾向或ハ差別慾ニ伴フテ發動シ自己肯定ノ本能ヨリ派生セルモノト思ハレルガ、併シ後ニハ模倣ノ傾向トモ結合スルコト、ナツテ居ルト思フ。即チ模倣ニヨツテ變化慾ガ充タサレルコトデアル要スルニ此等諸種ノ本有的傾向ハ相互ニ種々ニ交錯シテ居ツテ其關係ハ甚ダ複雑デアル。隨フテ茲ニ之ヲ簡單ニ論述スルコトガ出來ナイ。又余ハ未ダ之ヲ簡單ニ論述シ得ルダケ研究ヲ積ンデ居ラナイ。ソレデ假リニ左ノ如キ假說ヲ立テ、置ク即チ變化慾ハモト自己肯定ノ本能ヨリ派生シ、差別慾ト相伴フテ發動スルモノニシテ、而シテ其ノ發動ガ強マルト *pulsionisme* トナリ〔新ラシイト云フ意識〕ガ強マツテクル。然ルニ各個人ガ自己ノ力ニヨリテ變化慾及ビ差別慾ヲ充タサンニハ大ナル發明力ヲ必要トスルガ、是レ普通ノ人々ノ有シナイモノデアアル。此クテ普通ノ人々ハ優勝模倣ニヨリテ之ヲ充タサントスルノデアアル。サレバ優勝模倣ナルモノハ普通一般ノ人々ノ變化慾ヲ、其ノ差別慾ニ結合セル方面ニ於テ充タスト同時ニ、又其ノ模倣ト結合セル方面ニ於テ充タスモノデアアルノデアアル。而シテ是レガ即チ流行ノ真相デアルト余ハ考ヘルノデアアル。ジムメル氏ハ流行ノ真髓ヲ模倣ノ傾向ト分

化ノ傾向或ハ差別慾トノ結合ニ求メテ居ルガ余ハ此等二種ノ傾向ノ特定ノ結合ガ即チ優勝模倣デアルト考ヘルノデアル。是レ余ハ流行ノ一般的概念ヲ決定セントスルニ當テ之ヲ優勝模倣ノ一種ト解シタル所以デアル。併シ單ニジムメル氏ノ如ク此等二種ノ傾向ノ特定ノ結合ト見ルダケデハ未ダ充分ニ流行ノ真相ヲ闡明セルモノトハ思ハナイ。余ハ其ノ結合即チ優勝模倣ガ變化慾ノ強マリタルモノ、即チ新ラシイト云フ意識ニヨツテ決定サレタルモノト見テ、始メテ流行ノ真相ヲ充分ニ闡明スルコトガ出來ルノデアルト考ヘルノデアル。是レ余ハサキニ流行ノ一般的概念ヲ決定シテ流行トハツマリ新ラシイト云フ意識ヲ伴ヘル(或ハ新ラシイト云フ意識ニヨリテ決定サレタルト云フ方ガ一層穩當カト思フ)優勝模倣デアルト云ヘル所以デアル。而シテ余ハ此ノ見地ヨリ見テエルスター氏ノ新說ニ從來ノ諸說ヨリモ一段勝レタル處ガアルト考ヘルノデアル。夫レデ茲ニ簡單ニ同氏ノ說ヲ評價シテ置カウト思フ。

氏ハ昨年 *Conrads Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik* ニ於テ公ニサレタ論文 *Wirtschaft und Mode* ニ於テ先ヅ諸家ノ流行概念ヲ論評シタル後、自己ノ立場ヲ概論

シテ左ノ如ク云ハレテ居ル。

今流行ノ研究ニ於テ從來ノ研究者ハ吾人若シ確實ナル結果ニ達セントスレバ嚴然相互ニ區別セテバナラス諸問題ヲ常ニアマリニ容易ク混交シテ居ツタ。其等ノ問題ト云フハ、卽チ第一ニ、何故ニ一般ニ流行ノ變化ト云フコトガ起ルカト云フ問題、次ニ特殊ナル流行ノ方向ノ内容及ビ性質ニ關スル問題及ビ第三ニ流行傳播ノ根據ニ關スル問題デアル、何故ニ一般ニ流行ノ變化ト云フコトガ起ルカハ、余ノ見ル處ニヨレバ、唯戀愛の要素 *Erotischen momenten* ヨリシテ説明セラル、モノデアル。流行ノ方向ノ内容及ビ性質ハ一部分ハ戀愛の根據ニヨリテ、併シ一部分ハ其ノ時代ノ精神的構造及ビ文化觀ノ全體ニヨリテ決定セラル、モノデアル。然ルニ流行傳播ノ根據ハ社會學的ニハ模倣慾ト社會的平等及ビ平等慾競争トニシテ、經濟的ニハ近世資本主義的經濟組織ト交通トデアル。要スルニ、余ノ見ル處ニヨレバ、吾人ハ流行ヲ左ノ如クニ定義ス可キモノデアル。吾人ハ人間服裝品ノ一時的ニ支配スル形態ニシテ其起源ハ戀愛的變化慾ニ發シ、其ノ傳播ハ模倣及ビ社會的分化ノ集合心理的傾向ニ基ヅクモノヲ、流行ト云フ。

エルスター氏ハ前節ニモ云ヒシ如ク、流行ヲ最狹義ニ解シ、之ヲ服裝品ニ關スルモノニ限ラレルノデアアル。隨フテ氏ハ其根源ヲ戀愛的變化慾ニ制限サレテ居ルガ、併シ流行ヲサキニ述ベシ如ク廣義ニ解スルトキハ、其ノ根源ヲ一般ノ變化慾ト見ルコトガ出來ルノデアアル。氏ガ上ニ述ベシ如クニ流行ノ心理ヲ論ゼラレテ居ル主意ハ種々ノ點ニ於テ余ノ思想ト異ナツテ居ルノデアアルガ、併シ余ノ思想カラ見テモ氏ノ流行心理ノ根本觀念ハ少クモ形式上ニ於テ承認スルコトガ出來ルノデアアル。併シ茲ニ問題ノ起ツテクルノハ、假令流行ヲ最狹義ニ解シ、之ヲ服裝化粧等ニ限リテ觀念スルモ、唯戀愛的變化慾ノミヲ以テ其根源ト見ルハ、果シテ穩當デアラウカト云フコトデアアル。而シテ此問題ヲ正當ニ解決スルニハ先ヅ服裝化粧ノ心理ヲ論究セバナラナイト思フ。ソレデ次ニ服裝及ビ化粧ノ心理ノ研究ニ移ルコト、スル。

服裝化粧等ノ始源發達ニ就テハ土俗學者風俗史家文化史家等ノ詳シキ研究ガ數多公ニサレテ居ル。又簡單ニ其ノ一般ヲ說述シタルモノトシテハ Bourdeau, Histoire de l'habillement et de la parure, 1904. ノ如キ好著作モアル。而シテ服裝及ビ化粧ノ心理ノ

研究ニ就テハ、余ハ未ダマトマツタ著作ヲ見當ラナイガ、併シ心理學、社會心理學、土俗學等ノ著作論文ヤ又文學者ノ著作中ニハ、之レニ關スル斷片的研究或ハ意見ガ所々ニ散在シテ居ルコトヲ見ルノデアル。ソレデ此等ノモノヲ蒐集シテヤ、詳シク論述シテ見タイト考ヘテ居ツタガ、最早其暇ガナイカラ之レモ亦極簡單ニ一言スルニ止メテ置ク。

クラインウエヒター氏ハ吾人が衣服ニヨツテ實現セントスル目的ハ三重デアルト云ハレ、其ノ一ヲ實際的目的、其ノ二ヲ象徵的目的、其ノ三ヲ審美的目的ト稱セラレテ居ル(Kleinwächter, Zur Philosophie der Mode, 1880)而シテ其ノ實際的目的ト云ハルルハ、ツマリ服裝ニヨツテ羞耻ノ感情ヲ被ヒ、又寒氣ノ害ヤ氣候天氣ノ險惡ニ對シテ身體ヲ保護スルト同時ニ、身體ノ自由運動ヲ出來ルダケ傷害シナイ様ニシヤウトスルコトデアル。而シテ氏ハ羞耻ノ感情ト保護慾ハ衣服慾ヲ呼び起セルモノニシテ、一切ノ服裝ノ最後ノ發生原因デアルト考ヘ、又身體ヲ被フテ而モ其自由運動ヲ損シナイ様ニスルト云フコトハ、總テノ衣服ノ主要職分デアリ、隨フテ衣服ノ形態ヲ先ヅ第一ニ決定スルモノデアルト云ハレテ居ル。次ニ氏ノ象徵的目的ト云フ

ハ、ツマリ衣服ニヨツテ或ル象徵の意味ヲ表示セントスルコトデアル。其ノ最トモ普通ナル例ハ、衣服ニヨツテ夫レ夫レノ身分^{シユランデ}ヲ外面のニ表示スルコトデアルガ併シ氏ハ一定ノ觀念、或ハ時代ノ思潮ガ或ル程度ニ於テ衣服ニヨツテ象徵セラル、コトヲモヤハリ衣服ノ象徵的目的ノ一種トシテ之ヲ詳シク論述サレテ居ル。此點ニ於ケル氏ノ論究ハ服裝ト時代思潮トノ關係ヲ研究スル上ニ有益ナル材料ヲ提供シテ居ル。終リニ氏ノ審美的目的ト云フハ、ツマリ服裝ニヨツテ審美的慾望ヲ充足セントスルコトデアル。

而シテ氏ハ此ノ慾望ハ二箇ノ方針ニ於テ服裝ノ上ニ働イテ居ルト云ハレテ居ル。第一ニハ造形的^{ブラマチックシュ}ニ働イテ居ルコトデアル。即チ人體ノ美ハシキ又高尚ナル形體ヲ指示シテ之ヲ正當ニ表現セシメ、又之レニ附隨シテ人體發育上ノ小缺點ヲ隱クスコトデアル。第二ニハ繪畫的ニ働クコトデアル。即チ色彩ノ美ヲ適用シテ服裝ノ美ヲ飾ルコトデアル。

今クラインウエヒター氏ガ實際的目的ヲ最モ根本的ナルモノト見ル見解ハ、之ヲ服裝ノ起源問題ニ移シテ服裝ハ先ヅ實際的目的ノ爲メニ發明サレタルモノデ

アルト云フ意味ニ解スルトキハ(同氏ハ此ノ如クニ解サレテ居ルト思フガ)余ハ之ヲ穩當ト認メルコトハ出來ナイ。今日ハ土俗學上ノ研究ノ進歩ニヨツテ、服裝ハ先ヅ實際的目的ノ爲メニ發明サレタモノデナイコトハ明ラカニナツテ居ル。而シテ裝飾ノ爲メニ生起セルモノデアルト云フ說ハ、最モ汎ク行ハレテ居ル様デアルガ(Squillace, La Moda, 1912. Capitolo IV 參考)余ハ魔術的目的ヲ以テ服裝ノ發生セル最モ原始的ナル目的ト考ヘテ居ル。(近來 Frazer, Wundt, Hubert Mauss, Yennep 等ノ諸家ノ研究ニヨツテ魔術ノ性質、意義等經濟トノ關係ニ就テ近々ニ一論文ヲ發表スル目算デ居ル)ガ大ニ闡明セフレ又其文化發展上ニ於ケル重要ハ大ニ認めラレテ來タ。余ハ特ニ魔術トカラ魔術ノ新研究ニ就テハ其節ニ論述スルコト、スル)サレバクラインウエヒター氏ノ實際的目的ヲ最モ根本的ナルモノト見ル說ハ、之ヲ服裝ノ起源ニ適用スルトキハ穩當デナイガ、併シ服裝ノ既ニ發達シタル後ニ其ノ心理ヲ研究シテ其ノ目的ヲ分析的ニ調ラベテ見ル場合、ツマリ服裝ヲ「ゲネーチツシユ」ニ研究スルノデハナク「ローギツシユ」或ハ「テレオロギツシユ」ニ研究スル場合ニハ、氏ノ服裝目的の三重說ハ大體上穩當ト認めラレルノデアル。而シテ今服裝ハ右ノ三重ノ目的ヲ充足スル爲メニ吾人ノ要求スルモノト解スルニ於テハ、流行ハ其ノ實際的目的ニ關スル方面ヨリハ、寧ロ其ノ象徴的及ビ審美的目的ニ關スル方面ニ於テ行ハレルモノト考ヘテバナラヌ。ス

キルラチエ氏ハ流行ノ審美的特徴ハ優雅¹⁾ Eleganza デアルト云ハレ、之ヲ形色、香等ノ諸方面ニ就テ論述サレテ居ツテ (op. cit. Capitoło VII) 流行ヲ主トシテ審美的目的ニ關スル方面ニ於テ考察サレテ居ル様デアルガ、併シ同書第四章、流行ト社會ニ於テハ社會的政治的狀態ト流行トノ關係ヲ論ジ、要スルニ流行ハ如何ニ各時代ガ安易、優雅、嗜ナミ、ヲ觀念スルカラ吾人ニ示スモノデアルト云ハレテ居ルカラ、ツマリ氏ハ優雅ノ觀念中ニ象徵的目的ニ關スル方面ヲモ含マセテ考ヘラレテ居ルト云フコトガ出來ルト思フ。今此ノ如ク流行ハ特ニ服裝ノ象徵的及ビ審美的目的ニ關スル方面ニ於テ行ハル、モノト認メテ置ク、夫レヨリエルスター氏ノ流行ノ根源ハ戀愛的變化慾デアルト云フ說ヲ考察シテ見ルト、氏ノ說ハツマリ象徵的目的ニ關スル方面ニ於テモ、亦審美的目的ニ關スル方面ニ於テモ、流行ノ變化變動ノ根柢ハ戀愛的變化慾デアルト云フコトニナルノデアル。果シテサウデアラウカ。尙ホエールスター氏ノ說其物ヲ少シ詳シク調ラベテ見ヤウ。(未完)

御 斷 り

拙稿市街鐵道法概論ハ前號ニ於テ未完ト相成居候處
都合アリ之レニテ一先ヅ完結トシ更ニ論題ヲ改メ寄
稿ノ筈ニ御座候

美 濃 部